

令和7年度 五條市立民俗資料館 戦後80年企画展

古写真・絵葉書で見る昔の五條 その3

「戦争と学校 ―学校生活に投影された戦争―」

■ 開催期間: 令和7年8月1日(金)～令和8年3月31日(火)



五條中學校發火演習(両軍幹部)

かつての日本においては戦時下もしくは戦争に向かいつつあった時代において、学校教育においても戦争がその影を落とした時代がありました。1914(大正3)年に総力戦となった第一次世界大戦が始まり、その経験から日本も軍事予備教育の必要性に着目するようになります。軍隊式の学校教練が正課として導入され、戦争が近づく学校での体育は戦争のための体力増強などが目的のひとつとなり、銃の操作や行進など兵士としての基礎訓練から、実戦さながらの軍事的な訓練も行われるようになりました。

今回は当時の絵葉書の中から、旧制五條中学校の発火演習などの教練をとりあげたものや、同時期の奈良県内旧制中等学校の事例として、旧制郡山中学校の様子なども僅かではありますがご紹介します。

今年は終戦80年目の節目を迎えましたが、この五條市や奈良県での学生生活にも戦争が色濃く投影された時代が確かにあったことを、これらの絵葉書(古写真)を通して、当時の様子に思いを馳せていただければ幸いです。

五條市立民俗資料館 〒637-0043 奈良県五條市新町3丁目3番1号

TEL/FAX:0747-22-0450 開館時間:10時から16時まで 入館料:無料

休館日:毎週月曜日(祝祭日にあたる場合は翌日)・年末年始(12/25～1/5)